

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム「日和庵」すわの

## 目標達成計画書

作成日: 平成27年5月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |                 |   |   |            |
|----------|------|-----------------|---|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題    | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 1    | 理念の共有と実践        | 開設9年目を迎え、開設時に掲げた理念を改めて再確認し、理念に沿った介護サービスが実践できるように取り組んでいく。                                | 職員会議や申し送り時に、理念について職員間で話し合い、唱和し、理念の意義を職員一人ひとりが理解し、利用者本位の介護に取り組み、職員の介護技術の向上と、意識の高揚に取り組んでいく。 | 12ヶ月       |
| 2        | 51   | 日常的な外出の支援       | 利用者の重度化が進み、車椅子使用の利用者が増加して、外出は困難ではあるが、個別対応で自然の風や日差しを受けて、利用者が季節の変化を五感で感じられる外出の支援に取り組んでいく。 | 職員のやる気と頑張りを引き出し、家族や関係者の協力を得て、コンパクトな外出の支援に取り組み、利用者の生きる力を引き出し、気分転換に繋げていく。                   | 12ヶ月       |
| 3        | 3    | 運営推進会議を活かした取り組み | 年に1回は必ず、利用者の家族にも参加して頂き、ホームでの行事等にも関わって頂くよう取り組んでいく。                                       | 開催日を検討し、土曜日・日曜日等家族の方々が参加しやすい日を選ぶ。又テーマを決めず「座談会」として何でも話せる場を持つ                               | 12ヶ月       |
| 4        | 16   | 災害対策            | 災害時の利用者の集合場所の確認、スプリンクラー作動時の対応等を再度検討し、職員間で周知する。又非常食の内容も再検討していく。                          | 年2回の防災訓練だけでなく、毎月職員会議で話し合い、いかに利用者を安全に避難させることができるか、利用者の心身の状況に合わせたマニュアルの作成を再検討を行う            | 12ヶ月       |
| 5        |      |                 |   |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。